

千葉市新庁舎整備工事の落札者が決定しました

千葉市では、本庁舎が抱える防災面、分散化・狭隘化、老朽化などの課題を解決し、効率的で災害に強い新庁舎整備を進めるため、整備事業者の選定に取り組んできました。

本日、総合評価落札方式により落札者を決定しましたので、お知らせします。

1 工事名称

千葉市新庁舎整備工事

2 落札者

大成・鶴沢建設共同企業体

< 構成員 >

大成建設(株) (代表企業)

鶴沢建設(株)

3 落札金額

24,942,600,000円 (税込)

(予定価格 27,713,880,000円 (税込))

4 落札者の決定について

技術評価点と入札金額による総合評価落札方式により落札者を決定した。

技術評価点の審査にあたっては、本工事特有の課題に対応するための評価項目に対して入札参加者より技術提案を求めた。

その結果、独自技術の活用や工法・工程の工夫などにより、新庁舎の早期供用開始や高い免震性能の確保、効率的な維持管理に資する提案などのほか、市内企業を構成員とする共同企業体の結成や市内企業の活用などの提案がなされ、それらを附属機関の意見を踏まえながら、本市において審査し、技術評価点を決定した。

(総合評価結果)

項目	竹中・新日本 建設共同企業体	大成・鶴沢 建設共同企業体
a 技術評価点	127.2	129.2
b 入札価格 (税抜)	23,094,900,000円	23,095,000,000円
評価値 ($a \div b \times 1,000,000$)	0.005507	0.005594

5 工事内容

本工事は、デザインビルド(設計・施工一括)方式により、建築工事、電気設備工事、空調設備工事、給排水衛生設備工事、昇降機設備工事、外構工事(モノレール連絡通路、その他付属施設含む)、解体工事、実施設計業務、工事監理業務を行うものである。

6 今後のスケジュール（予定）

- 2019年1月下旬 仮契約の締結
- 2019年2月 千葉県議会第1回定例会へ契約議案提出
- 2019年4月～ 実施設計
- 2020年夏頃 新築工事着手
- 2023年度 新庁舎供用開始